

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 2 月 7 日 (2013.2.7)

【公表番号】特表 2011-506879 (P2011-506879A)
 【公表日】平成 23 年 3 月 3 日 (2011.3.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-009
 【出願番号】特願 2010-538319 (P2010-538319)
 【国際特許分類】

F 1 6 G 5/18 (2006.01)

F 1 6 H 9/16 (2006.01)

【F I】

F 1 6 G 5/18 C

F 1 6 H 9/16

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロッカージョイントチェーン (22) のためのリンクプレート (21) であって、該リンクプレート (21) はリンクプレート開口 (23) を取り囲む 2 つの長手方向辺 (26) と 2 つの高さ方向辺 (27) とを有している、ロッカージョイントチェーンのためのリンクプレートにおいて、

長手方向辺 (26) の少なくとも 1 つに、少なくとも 1 つの切欠き (31) が配置されており、前記長手方向辺は切欠き (31) の領域において底線 (33) に対して厚さ b を有しており、前記切欠きは底線 (33) に対して深さ a を有しており、比率は $0.1 \leq a/b \leq 0.5$ であることを特徴とする、ロッカージョイントチェーンのためのリンクプレート。

【請求項 2】

切欠き (31) はリンクプレート (21) の長手方向輪郭において、台形状又は方形状であることを特徴とする、請求項 1 記載のリンクプレート。

【請求項 3】

切欠き (31) は並列させられた凸状及び凹状の曲線により形成され、該曲線は緩やかに互いに移行し、台形状又は方形状の切欠きを形成することを特徴とする、請求項 1 又は 2 記載のリンクプレート。

【請求項 4】

前記凸状又は凹状の曲線は丸み (R) であることを特徴とする、請求項 3 記載のリンクプレート。

【請求項 5】

丸み (R) は同じであることを特徴とする、請求項 4 記載のリンクプレート。

【請求項 6】

切欠き (31) はリンクプレート (21) の長手方向輪郭において部分円形状であるか、又は部分楕円形状であることを特徴とする、請求項 1 又は 2 記載のリンクプレート。

【請求項 7】

複数の切欠き (31.1, 31.2) が 1 つの長手方向辺 (26) に配置されているこ

とを特徴とする、請求項 1 から 6 までのいずれか一項記載のリンクプレート。

【請求項 8】

複数の切欠き（31・1，31・2）は前記リンクプレートの中心線（36）に対して対称的に配置されていることを特徴とする、請求項 7 記載のリンクプレート。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項記載のリンクプレート（21）を少なくとも部分的に有することを特徴とする、ロッカージョイントチェーン。

【請求項 10】

請求項 9 記載のロッカージョイントチェーン（22）を備えたバリエータ変速機において、リンクプレート（21）の切欠き（31）は、運転中にガイドレール（16）の滑走路（17，18）を通り過ぎて案内されるリンクプレート（21）の面に配置されていることを特徴とする、請求項 9 記載のロッカージョイントチェーンを備えたバリエータ変速機。